４－２　売掛金・買掛金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　売掛金・買掛金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「売掛金」勘定（資産）

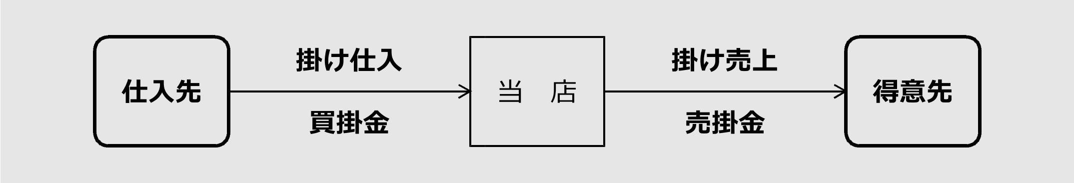
「買掛金」勘定（負債）

（１）売掛金・買掛金とは？

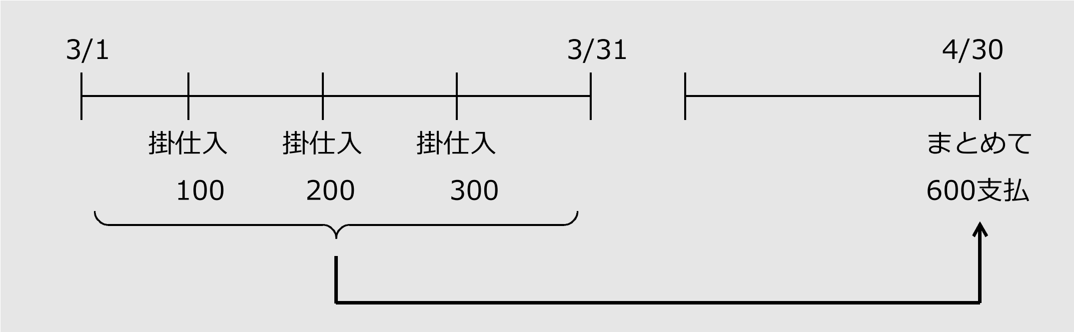
売掛金（うりかけきん）とは、商品の販売代金を売上時には受け取らず、後日に販売代金を受け取る権利をいい、「**売掛金**」勘定（**資産**）で処理します。

買掛金（かいかけきん）とは、商品の購入代金を仕入時には支払わず、後日に購入代金を支払う義務をいい、「**買掛金**」勘定（**負債**）で処理します。

なお、仕入を行う取引先を**仕入先**（しいれさき）、販売を行う取引先を**得意先**（とくいさき）といいます。



このように、取引時に代金の支払や受取をせず、後日に代金の支払や受取を行う取引を**掛け**（か）**による取引**といいます。これにより、取引の都度お金を用意する必要がなくなります。「月末締め、翌月末払い」といった取引条件は、取引の都度支払を行わずに１ヶ月間の取引高を合計して、取引月の翌月にまとめて支払うことですので、掛けによる取引を意味します。



（２）買掛金の処理

①　掛仕入時

買掛金という、後日代金を支払う義務（負債）が生じたので「買掛金」勘定（負債）の増加として処理します。

例題４－３　**商品1,000円を掛けで仕入れた。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
仕入	**1,000**	**買掛金**	**1,000**

②　買掛金支払時

代金を支払うと買掛金という負債が減少するので「買掛金」勘定（負債）の減少として処理します。

例題４－４　**買掛金1,000円を現金で支払った。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
買掛金	**1,000**	**現金**	**1,000**

（３）売掛金の処理

①　掛売上時

売掛金という、後日代金を受け取る権利（資産）が生じたので「売掛金」勘定（資産）の増加として処理します。

例題４－５　**商品を1,200円で掛けで売り上げた。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
売掛金	**1,200**	**売上**	**1,200**

②　売掛金回収時

代金を受け取ると売掛金という資産が減少するので「売掛金」勘定（資産）の減少として処理します。

例題４－６　**売掛金1,200円を現金で受け取った。**

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金	**1,200**	**売掛金**	**1,200**

４－３　前払金・前受金

【重要性：A】

ＰＯＩＮＴ！

①　前払金・前受金の内容を理解しよう！

②　発生と消滅の仕訳をマスターしよう！

主な勘定科目

「前払金」勘定（資産）

「前受金」勘定（負債）

（１）前払金・前受金とは？

商品を仕入れる前に代金の一部を内金や手付金として支払う場合があります。これを**前払金**（まえばらいきん）といいます。この場合、後日、商品を受け取る権利が生じますので、これを「**前払金**」勘定（**資産**）で処理します。

商品を販売する前に代金の一部を内金や手付金として受け取る場合があります。これを**前受金**（まえうけきん）といいます。この場合、後日、商品を引き渡す義務が生じますので、これを「**前受金**」勘定（**負債**）で処理します。

（２）前払金の処理

① 仕入代金の内金の支払時

前払金という資産が増加したので「前払金」勘定（資産）の増加として処理します。なお、仕入代金の一部を支払っていますが、仕入を認識するのは商品購入時ですので、注意して下さい。

例題４－７　**商品800円を注文し、内金として200円を現金で支払った。**

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
前　払　金	**200**	**現　　金**	**200**

② 仕入時（内金の充当）

実際に商品を仕入れたので、前払金という商品を受け取る権利（資産）が減少したので「前払金」勘定（資産）の減少として処理します。

例題４－８　**商品800円を仕入れ、代金のうち200円は注文時に支払った内金と相殺し、残額600円は掛けとした。**

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
仕　　入	**800**	**前　払　金**	**200**
		買　掛　金	**600**

（３）前受金の処理

① 売上代金の内金の受取時

前受金という負債が増加したので「前受金」勘定（負債）の増加として処理します。なお、売上代金の一部を受け取っていますが、売上を認識するのは商品販売時ですので、注意して下さい。

例題４－９　商品800円の注文を受け、内金として200円を現金で受け取った。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
現　金	**200**	**前 受 金**	**200**

② 売上時（内金の充当）

実際に商品を販売したので、前受金という商品を引き渡す義務（負債）が減少したため「前受金」勘定（負債）の減少として処理します。

例題４－10　商品800円を売り上げ、代金のうち200円は注文時に受け取った内金と相殺し、残額600円は掛けとした。

借 方 科 目	金　額	貸 方 科 目	金　額
前 受 金	**200**	**売　上**	**800**
売 掛 金	**600**		

第４章　商品売買①　問題

問題4-1　**期末商品は2,000円であった。そこで、①決算整理仕訳を行うとともに、②仕入勘定と繰越商品勘定を記入（勘定の締切りは不要）し、③決算整理後残高試算表の空欄にあてはまる金額を答えなさい。なお、決算日は12月31日である。**

決算整理前残高試算表（一部）

繰　越　商　品	1,500	売　　　　上	16,000
仕　　　　入	13,000		

問題4-2　**以下の取引に関して、仕訳を行いなさい。**

①　商品4,000円を仕入れ、代金のうち1,000円は現金で支払い、残額は掛けとした。
②　商品を6,000円で売り渡し、代金のうち1,500円は現金で受け取り、残額は掛けとした。
③　商品3,000円を注文し、手付金として500円を現金で支払った。
④　商品仕入の掛け代金3,000円を現金で支払った。
⑤　商品4,200円を仕入れ、代金のうち500円は手付金として支払っていたので、残額を現金で支払った。
⑥　商品4,800円の注文を受け、内金として1,200円を現金で受け取った。
⑦　商品売上の掛け代金4,500円を現金で受け取った。
⑧　商品4,800円を販売し、代金のうち1,200円は内金として受け取っていたので相殺し、残額を現金で受け取った。

第４章　商品売買①　答案用紙

問題4-1

①　決算整理仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
12/31				
〃				

②　勘定記入

繰越商品

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
1	1	前期繰越	1,500				

仕　入

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
8	8	現金	13,000				

③　決算整理後残高試算表（一部）

決算整理後残高試算表

繰越商品　(　　　　)	売上　(　　　　)
仕入　(　　　　)	

問題4-2

	借 方 科 目	金　　額	貸 方 科 目	金　　額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				
⑦				
⑧				

第４章　商品売買①　解答解説

問題4-1　**解答**

①　決算整理仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
12/31	**仕入**	**1,500**	**繰越商品**	**1,500**
〃	**繰越商品**	**2,000**	**仕入**	**2,000**

②　勘定記入

繰越商品

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
1	1	前期繰越	1,500	12	31	仕入	1,500
12	31	仕入	2,000				

仕入

日付		摘要	借方	日付		摘要	貸方
8	8	現金	13,000	12	31	繰越商品	2,000
12	31	繰越商品	1,500				

③　決算整理後残高試算表（一部）

決算整理後残高試算表

繰越商品	(2,000)	売上	(16,000)
仕入	(12,500)		

問題4-1　**解説**

・勘定記入

　決算整理仕訳にもとづいて、正しく転記できるようにして下さい。特に、摘要欄に相手勘定科目を記入する点に注意して下さい。

・後T/B

「繰越商品」は期末商品を意味し、「仕入」勘定は売上原価を意味します。

商　　　品

期首商品　1,500	売上原価　12,500
当期仕入　13,000	期末商品　2,000

問題4-2　**解答**

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①	仕入	4,000	現金	1,000
			買掛金	3,000
②	現金	1,500	売上	6,000
	売掛金	4,500		
③	前払金	500	現金	500
④	買掛金	3,000	現金	3,000
⑤	仕入	4,200	前払金	500
			現金	3,700
⑥	現金	1,200	前受金	1,200
⑦	現金	4,500	売掛金	4,500
⑧	前受金	1,200	売上	4,800
	現金	3,600		

問題4-2　**解説**

①　商品を掛けで仕入れた場合、「買掛金」勘定（負債）で処理します。

②　商品を掛けで売り上げた場合、「売掛金」勘定（資産）で処理します。

③　商品を仕入れる前に代金の一部を内金や手付金として前払いした場合、「前払金」勘定（資産）で処理します。

④　仕入に関する掛け代金を支払った場合、「買掛金」勘定（負債）の減少として処理します。

⑤　前払金として以前に支払っており、実際に仕入れた場合、「前払金」勘定（資産）の減少として処理します。

⑥　商品を販売する前に代金の一部を内金や手付金として前受けした場合、「前受金」勘定（負債）で処理します。

⑦　売上に関する掛代金を受け取った場合、「売掛金」勘定（資産）の減少として処理します。

⑧　前受金として以前に支払っており、実際に売り上げた場合、「前受金」勘定（負債）の減少として処理します。